

研究に関するお知らせ

— 平成 18 年 1 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日に大血管炎の PET/CT 検査を受けられた方へ

「PET/CT による大血管炎評価に関する研究—単施設後ろ向き研究」へのご協力のお願い —

研究期間: 医学部倫理委員会審査承認後 ～ 2028 年 3 月 31 日

この度、血管炎の評価の目的で行われた PET/CT 検査に関する研究を行うことになりました。研究対象となる方の検査結果を本研究のために使用させていただきます。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。

研究対象となる方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力いただけない場合でも、不利益が生じることはありません。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

【研究課題】 承認番号 M2017-351 番: PET/CT による大血管炎評価に関する研究—単施設後ろ向き研究

【研究目的】 PET/CT における大血管炎の所見を副次所見を含めて詳細に評価することを目的とします。

【研究意義】 大血管炎のある方の血管には PET/CT で集積が見られることが知られています。しかし、血管外など副次所見を含めた血管炎の PET/CT を詳細に評価した報告はありません。血管炎の PET/CT による評価が 2018 年 4 月に保険収載されることが決定しており、検査数の増加が予想されます。血管炎の PET/CT において認めうる所見を詳細に記述することは、PET/CT 評価において重要と考え、これを目的とします。

【対象・研究方法】 2006 年 1 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日の間に当院で PET/CT を施行された患者さんを対象とします。予定症例数は 150 例です。既に診療で得られた PET/CT 画像、患者情報(年齢、性別、病歴、症状、血液データ所見、治療法、病理診断)を用いて、放射線部 PET センターのデータ解析用のソフトウェアを用いて大血管炎の PET/CT 所見の画像評価、SUV max の測定を行う。(画像で計測される放射能濃度を投与量と体重で補正した定量値を standardized uptake value (SUV) として扱うことがあり、関心領域における 1 ピクセルあたりの最も大きな値を SUV max と表現します)。

【個人情報の取り扱い】 検査データ・その他関連情報は匿名化を行い、これに関わる個人情報は、個人情報管理担当者によって厳重に管理されます。研究成果の発表時を含め、外部に公開されることは一切ありません。

【研究資金および利益相反】 本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 土屋 純一 東京医科歯科大学病院 放射線診断科・准教授(対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)

住所：〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 TEL:03-5803-5311(医局)

苦情窓口： 東京医科歯科大学医学部総務係 03-5803-5096(対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)